

宮崎県森連会報

発行 宮崎県宮崎市橘通西2-2-2 宮崎県森林組合連合会 電話0985(25)5133 2023年4月25日発行



農林中央金庫 CSR事業寄贈式

目次

退職・人事異動	1
新規採用職員紹介	2
埼玉西武ライオンズ南郷協会へ飼肥杉製品を寄贈しました	3
耳川林業事業協同組合の木材加工場竣工式	4
「諸塚村森林・林業DX推進協議会」成果発表会を実施	4
ドローンオペレーター育成講習会を開催	5
認定事業者を対象とした立入検査を実施	6
木材市況	7

2023 **4**
vol.306



退職・人事異動

令和5年3月31日 退職

- ◇事業部 販売課主事（地域限定職員） 兼事業部
販売課 東郷木材加工場主事（地域限定職員） **春木 亮子**
- ◇事業部 共販課 宮崎林産物流通センター
共販専門指導員（再雇用職員） **長谷川 仁**

- ◇総務部付き 再雇用職員
（有）フォレスト宮崎 出向 **飯干 智由**
- ◇森林整備部 みやざき森林経営管理支援センター
森林経営管理アドバイザー **水垂 信一**

令和5年4月1日 異動（ ）は前職

- ◇森林整備部 森林整備部長 兼森林整備部 森林整備課長 兼
森林整備部 森林整備課 労働安全・山づくり対策室長
中鶴 浩利
（森林整備部 森林整備部長 兼森林整備部 森林整備課長）
- ◇事業部付き副参事 兼プレカット事業推進室長
東九州プレカット事業協同組合 派遣 **苺部 元樹**
（事業部付き 兼副参事 プレカット事業推進室長 兼事業部 共販課
細島木材流通センター白浜出張所長 東九州プレカット事業協同組合 派遣）
- ◇総務部 指導課長 兼総務部 指導課
コンプライアンス推進室長 **北原 聖子**
（副主幹 兼事業部 共販課 日南林産物流通センター副所長）
- ◇総務部付き主幹 耳川林業事業協同組合 出向
神塚 一茂
（事業部 販売課長 兼東郷木材加工場長）
- ◇総務部 総務課長 **濱 砂徹也**
（総務部 総務課長 兼総務部 指導課長 兼
総務部 指導課 コンプライアンス推進室長）
- ◇総務部 総務課長補佐 労働指導専門員
吉永 直樹
（総務部 指導課長補佐 労働指導専門員 兼総務部
指導課 コンプライアンス推進室長補佐）
- ◇事業部 共販課 高原林産物流通センター主査 兼事業部
共販課 小林林産物流通センター主査 **酒井 朋香**
（事業部 共販課 高原林産物流通センター主査）
- ◇主査 兼事業部 共販課 五ヶ瀬林産物流通センター所長
沖田 大知
（事業部 共販課 高千穂林産物流通センター主査）
- ◇総務部付き主査 耳川林業事業協同組合 出向
武田 雄一郎
（事業部 販売課 販売係主事 兼事業部 販売課 東郷木材加工場主事）
- ◇総務部 指導課 指導係長 兼総務部 指導課
コンプライアンス推進室主査 **濱竹 弓弦**
（事業部 共販課 日南林産物流通センター主事）
- ◇事業部 共販課 高千穂林産物流通センター主事
和田 拓也
（事業部 共販課 細島木材流通センター主事）
- ◇事業部 共販課 細島木材流通センター主事
工藤 拓人
（森林整備部 森林整備課 森林整備係主事 兼森林整備部
森林整備課 労働安全・山づくり対策室主事）
- ◇事業部 共販課 細島木材流通センター主事
（地域限定職員） **稲田 美行**
（総務部 総務課 総務係長）
- ◇森林整備部 森林整備課 森林整備係主事（臨時職員） 兼
事業部 販売課 販売係主事（臨時職員） **八木 由紀子**
（森林整備部 森林整備課 森林整備係主事（臨時職員））

- ◇事業部 事業部長 兼事業部 共販課長 兼
事業部 販売課長 兼監査室長 **湯浅 康博**
（事業部 事業部長 兼事業部 共販課長 兼
バイオマス事業推進室長 兼監査室長）
- ◇総務部付き副参事
宮崎ウッドベレット(株) 出向 **益留 史**
（副参事 兼事業部 共販課 東郷林産物流通センター所長）
- ◇主幹 兼事業部 共販課長補佐 兼
バイオマス事業推進室長 **井上 純仁**
（主幹 兼事業部 共販課 都城林産物流通センター所長）
- ◇主幹 兼事業部 共販課
都城林産物流通センター所長 **長友 孝博**
（総務部 総務課 主幹）
- ◇副主幹 兼事業部 共販課
日南林産物流通センター副所長 **久保 千恵美**
（事業部 共販課長補佐）
- ◇森林整備部 森林整備課長補佐 兼森林整備部
森林整備課 労働安全・山づくり対策室長補佐 **大西 竜生**
（総務部 総務課長補佐）
- ◇主査 兼事業部 共販課
東郷林産物流通センター所長 **鬼塚 侑希**
（主査 兼事業部 共販課 五ヶ瀬林産物流通センター所長）
- ◇総務部 総務課 総務係長
緒方 智信
（事業部 販売課 販売係長 兼事業部 販売課 東郷木材加工場主査）
- ◇事業部 共販課 都城林産物流通センター主査
上仮屋 博文
（事業部 共販課主事）
- ◇事業部 販売課 販売係主事 兼
事業部 共販課 共販係主事 **兼松 龍一**
（事業部 共販課 都城林産物流通センター主事）
- ◇事業部 共販課 日南林産物流通センター主事
相馬 百華
（総務部 指導課 指導係主事 兼総務部 指導課 コンプライアンス推進室主事）
- ◇事業部 共販課 高原林産物流通センター主事 兼
事業部 共販課 小林林産物流通センター主事 **温谷 友幸**
（事業部 共販課 高原林産物流通センター主事）
- ◇総務部付 再雇用職員（有）フォレスト宮崎 出向
杉田 芳朗
（事業部付 再雇用職員 宮崎ウッドベレット(株) 出向）
- ◇事業部 共販課 宮崎林産物流通センター主事
（臨時職員） **長谷川 仁**

令和5年4月1日 新規採用

- ◇森林整備部 森林整備課 森林整備係主事 兼
森林整備部 森林整備課 労働安全・山づくり対策室主事
西野 充哉
- ◇森林整備部 森林整備課 森林整備専門員
西田 秀明

- ◇事業部 共販課 共販係主事 **高塚 周**
- ◇森林整備部 みやざき森林経営管理支援センター
森林経営管理アドバイザー **山村 研治**

新規採用職員紹介



たかつか しゅう
高塚 周

本年度から当会の事業部 共販課に配属となりました、高塚周と申します。

私は広島県出身で、宮崎国際大学を卒業しました。趣味はサーフィンと楽器で、特にギターとベースが得意で曲も自作しています。

幼い頃から宮崎でサーフィンをしており、自然に触れてきて宮崎の自然に携わる仕事をしたいという思いがあったため、当会で働けることを大変嬉しく思っています。しかし私自身これまでに林業に関わったことがないため、何一つ分からない所からのスタートとなりますが、一日でも早く皆様のお力になれる様に日々勉強していきたいと思っています。

また社会人一年目で色々に至らない点もあると思いますが学生気分を抜き社会人としての自覚を持ち仕事に励んでいこうと思っています。信頼される職員になれるよう、失礼やご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが精一杯頑張りますのでご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い致します。



にしの みつや
西野 充哉

本年度より当会の職員となり、森林整備課に配属となりました、西野充哉と申します。

この度、中途での採用となり前職では主に、エネルギー関連の保全業務や法人営業の業務に従事しておりました。

エネルギー関連の業務を通じて環境保全に興味を持ち、昨今話題にもなっている森林・林業のDX化など、これから更に重要になってくる森林事業に携わる機会を得ることが出来、大変嬉しく思います。

また、大学、社会人と宮崎県外で過ごしておりましたので、地元の宮崎県に戻ってくることで、より一層身を引き締めて頑張りたいと思います。

前職からは異業種となり、経験のない業務が多くある中で、多々ご迷惑等をお掛けする事もあるかと思いますが、1日でも早く一人前になれるよう精一杯努力してまいりたいと思いますので、ご指導の程よろしくお願い致します。



やまむら けんじ
山村 研治

今年度から当会の「みやざき森林経営管理支援センター」で森林経営管理アドバイザーとして採用されました山村研治です。

昨年度までは、県職員として森林整備や森林荒廃防止対策などの林務行政に携わって参りました。

今後はアドバイザーとして森林経営管理制度を活用した森林管理の適正化を促進するため、市町村や林業事業体の皆様と連携を図りながら、経営管理が不十分な森林を対象とした森林所有者への経営意欲や今後の管理方針への確認業務支援、さらに林業経営に適した森林については、森林所有者が経営できない場合は意欲と能力のある林業経営者に再委託を行う業務への支援アドバイス等、森林の適正な経営管理の促進を目的に市町村に対して制度推進に関する相談対応や技術指導など、きめ細やかな支援業務が行えるよう努めて参りたいと考えております。

どうぞ よろしく願いいたします。

JForest 森林組合綱領 — 私たち森林組合のめざすもの —

私たち森林組合は、地域の森林管理主体として、地域の森林を協同の力で育て守り続け、森林環境保全と林業発展を通じて、地球温暖化防止へ貢献するとともに、水源の保全、国土の安全、健全な森林環境と良質の木材を国民へ提供しながら、健康で安心、豊かな住生活を支えていくことを使命とします。

私たち森林組合の組合員・役職員は、こうした使命を自覚し、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主・自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、平和とより民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、私たち森林組合の組合員・役職員は、次のことを宣誓し、責任をもって行動します。

一、森林の恵みに感謝し、地球環境保全のため、豊かな森林を未来に引き継ごう。

一、森林を守り育て、林業と山村を活性化しよう。

一、JForest 森林組合への積極的な参加によって、協同の力を発揮しよう。

一、自主・自立、民主的運営を基本に、開かれた組合経営を目指そう。

一、協同の理念と誇りある仕事を通じて、共に生きがいを追及しよう。

埼玉西武ライオンズ南郷協力会へ飼肥杉製品を寄贈しました

私たち森林組合系統は「JForest ビジョン2030」において、脱炭素社会への貢献はもとより、SDGsの多くの目標達成に系統一丸となって貢献することを目指しており、国産材の利用推進もその一環として位置づけています。

当会では、農林中央金庫とのCSR活動として木製品の寄贈や木育活動を実施しており、今年度は、日南市南郷町でのプロ野球・埼玉西武ライオンズの春季キャンプが20周年を迎えることから、全国から訪れるファンに木のぬくもり、素晴らしさを知ってもらうために、地元森林組合である南那珂森林組合が制作した飼肥杉を使った6種類の「飼肥杉製品」850個を埼玉西武ライオンズ南郷協力会に寄贈しました。

野球ボールをイメージした置き時計50個、コースター、キーホルダー、ピンバッジ、マグネットそれぞれ200個には、日南の名産品のカツオをあしらった20周年記念のロゴマークが刻まれています。

令和5年2月17日、日南市役所にて寄贈式を執り行い、当会の長友会長及び南那珂森林組合の井上組合長、農林中央金庫福岡支店の久古谷支店長の挨拶の後、飼肥杉製品を贈呈し、同協力会会長の代理

として受け取った西久保副市長にお礼の言葉を頂戴しました。その中で、南那珂森林組合の井上組合長は「ここは400年もの歴史を持つ林業地域であり、ライオンズファンの皆さんに木のぬくもりを感じてほしい」と述べ、西久保副市長より「素晴らしい製品で木の良さを来場する多くの方々に実感してもらいたい」というお言葉をいただきました。

今後も私たち森林組合系統は、国産材の利用拡大に務めるとともに、環境貢献活動や再生林の推進に資するこのような活動に取り組んでまいります。



「飼肥杉製品」寄贈式



寄贈した飼肥杉製品

耳川林業事業協同組合の木材加工場竣工式

3月22日、耳川林業事業協同組合において、東白杵農林振興局長をはじめ、県環境森林部山村・木材振興課長、椎葉村長、諸塚村長、美郷町長、門川町長、地域関係者など多数の来賓出席のもと、木材加工場の竣工式が開催されました。

竣工式ではまず、地元神社による安全祈願の神事が執り行われ、続いて式典では、平野理事長の挨拶や来賓祝辞の後、事業経過報告、工事関係者への感謝状贈呈が行われ、滞りなく終了しました。

当会においては、3月末日を以て平成9年4月よ

り営業を続けていた東郷木材加工場を閉鎖し、工場の運営と販売先等を耳川林業事業協同組合へ引き継ぐとともに、経営参画することとし、この竣工を節目に、耳川林業事業協同組合及び当会が耳川流域における木材の流通・加工の重要拠点として役割を果たせるよう、役職員一同、森林・林業産業の振興のため、より一層努めて参る所存です。

皆様方におかれましては、今後とも特段のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平野理事長の挨拶



竣工式の様子

「諸塚村森林・林業DX推進協議会」 成果発表会を実施

「諸塚村森林・林業DX推進協議会」は、当会及び諸塚村、西日本電信電話株式会社宮崎支店、耳川広域森林組合、宮崎県木材協同組合連合会、宮崎県造林素材生産事業協同組合連合会、国立大学法人宮崎大学の参画のもと、令和3年4月21日に設立し（第299号にて既報）、諸塚村において2年間にわたり共同実証事業を行いました。

3月17日に関係者のほか行政や森林組合の担当者の出席のもと、宮崎市民プラザにおいて成果発表会を開催し、これまでの実証事業の結果を報告するとともに、実証事業に協力をいただいた諸塚村に対して、苗木の贈呈を行いました。

今回、実証を行った項目は①「森林情報のデジタ

ル化」、②「森林情報の見える化・共有」、③「クラウドを活用した木材取引（需給マッチング）」、④「民有林の集約化によるJ-クレジット創出」の4項目です。このうち、④のJ-クレジット創出では、民有林の集約化により「再造林活動（FO-O03）」方法論を活用したプロジェクトの先進的な事例として注目を集めています。

今後は、本実証事業で得られた結果を基に各地域の実状に合わせてさらなる社会実装を行い、持続可能な循環型森林経営を通じた林業活性化、カーボンニュートラルの実現につながることを期待されています。

ドローンオペレーター育成講習会を開催

当会は、令和5年3月2日から9日にかけて、ドローンオペレーター育成講習会を旧北俣小学校（国富町）にて開催し、当会職員5名が受講しました。

本講習会は、宮崎県のスマート林業導入支援事業オペレーター支援に基づくもので、ICTを活用したスマート林業技術の導入により労働力不足と作業の効率化等の諸課題の解決を図ることを目的としております。

講習は、ドローン販売大手であるDJI社の民間ライセンスを取得するため、ドローンの操作・整備や法令に関する講義などの座学に加え、実際にドローンを操作して技能を高める実践的な講習となりました。

幸いにも天気に恵まれ、春の訪れを感じる穏やかな風のなか、基本的な動作から8の字飛行・自律飛行プログラムの補助のない状態での飛行など、なかなか思うように動かないドローンに四苦八苦しつつ、10時間以上に及ぶ飛行訓練を行い、無事全員ライセンスの試験に合格をしました。

また、併せて4500万画素の高解像度カメラを搭載したドローンの操作と撮影したデータの解析に関する講習を行いました。

講義の合間に、いかにドローンを用いて林業の生産性の向上を図るかを講師も交えてディスカッションする姿が盛んに見られ、講習の成功を感じました。



飛行訓練の様子



講義の様子

● 森林組合系統組織を挙げて取り組もう

人権問題

人権問題の啓発推進に取り組むこととなる基本事項

- 人権問題の取組に当たっては、女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、アイヌの人々、外国人、HIV感染者、刑を終えて出所した人などへの偏見や差別を除去することを内容とする国民行計画の趣旨を踏まえ、それぞれの分野において自らの問題として積極的な役割の発揮に努めること。

特に、同和問題の早期解決は人権問題の重要な柱であることに留意すること。

- 人権問題の啓発推進に当たっては、職場内検討会を実施する等により、従業員一人一人が人権意識を高め、他者の価値を尊重する意識・態度の涵養が図られるよう創意工夫すること。

- 森林組合、県森連等の長は、人権問題啓発推進担当者（総務担当部署において人権問題啓発担当の責任を有する者をいう。）又は、人権問題啓発推進担当部署が活動できるような環境整備に努めること。

- 職員採用に際し、戸籍謄本等プライバシーに関わる書類の提出を求めることはできません。

宮崎県森林組合連合会

人権問題啓発推進事業

認定事業者を対象とした立入検査を実施

本県はスギ素材生産量31年連続日本一を記録し、全国有数の国産材供給基地として確固たる地位を築いています。一方で、担い手の減少や高齢化、伐採後の再造林対策や無断伐採に関する課題も浮き彫りになってきており、林業先進地として早急な対応を求められています。

ウッドショック以降、国産材の需要が高まる中、国・県においてもスマート林業の名の下ICT技術の活用を含めた林業イノベーションの推進、林地情報の活用や施業の集約化・効率化を進めていますが、まだまだアナログ的な事務処理が中心であり、流通する木材の合法性や持続可能性が証明された木材を効率的に提供していくことが、引き続き重要な役割となります。

当会では、合法木材供給事業者認定団体として、

事業者認定を取得した素材生産事業者を対象に、事業者認定制度を理解し、「実施要領」の記載事項に基づき正しく運用されているか等について指導や助言を行っています。

令和4年8月22日と令和5年2月17日の両日にかけて、宮崎県と合同で合法木材流通促進に向けて認定事業者を対象とした2事業者の立入検査を行いました。

具体的には、(1)伐採現場の隣接所有者と境界確認を行っているか、(2)過去に発行された適合格通知書を最低5年間保管しているか、(3)現場ごとの生産量、売上金額、付随する証明書等の管理ができていかなどの確認を行いました。

今後も、各関係機関と連携をとりながら合法木材の流通と利用促進に取り組んでまいります。



認定事業者を対象とした立入検査を実施

合言葉は「**ジモ・ミヤ・ラブ**」

「地元の宮崎を愛することが
地産地消につながる」
という趣旨の地産地消の
キャッチフレーズです

みやざき元気！“地産地消”推進県民会議

ディスカバー宮崎 応援消費

ホームページに応援消費コーナーを
設けています。

木 材 市 況

当会の令和4年度の平均単価は13,684円/㎡で取扱数量は634,191㎡となりました。(前年度対比4%減)

国交省が発表した令和4年(1~12月)の新設住宅着工数は、85万9,529戸(前年同期比0.4%増)と2年連続の増加となりました。資材価格や建築費の高騰による住宅価格の上昇により持ち家は減少した一方、貸家や分譲住宅(一戸建住宅、マンション)は増加しています。

昨年度は、9月に発生した台風14号の影響もあり、出材量が減少した一部地域もありましたが、比較的1年を通して木材の供給が安定した年だったと言えます。

一方原木価格は、製材品の動きが芳しくない中で13,000円/㎡台後半をキープしていましたが、3月下旬の原木市場の共販市より大幅に価格が下がり始めたところです。

4月に入っても、製材品の需要回復は見られず、製材工場の減産体制も実施されていることや原木の出材も増加しているため、価格は引き続き下降傾向になると思われます。

現在、長引くロシアのウクライナ侵攻による影響で、輸入材の価格上昇についての話が散見される中、今後は、国産材の利用が益々進み木材価格が再び上昇することを期待しながら、新年度もしっかりと集荷・販売に取り組んでまいります。

市況については、当会ホームページに各林産物流通センターの最新市況を掲載しています。出荷時期、造材等についてご不明な点がございましたら、各センター担当までご相談下さい。

宮崎県森連 各センター素材市況 中値(4月上旬)

(単位:円/m³)

樹種	長さ	径級	高千穂・五ヶ瀬	東郷	宮崎	都城	高原	日南
スギ	2.0	3~14	-	-	-	-	-	-
		16~28	7,500	-	-	-	8,000	-
	3.0	3~7	8,200	-	-	-	-	10,000
		8~11	10,000	-	8,300	13,300	-	9,600
		12~13	15,000	13,500	14,500	13,200	12,600	-
		14	17,000	17,200	14,400	16,900	15,200	-
		16~18	17,000	16,000	16,300	16,700	16,600	15,000
		20~22	15,500	15,000	14,300	14,700	14,600	13,800
		24~28	16,000	15,300	14,100	14,500	15,200	14,000
	30~	13,100	13,000	13,000	13,700	13,000	13,000	
	4.0	3~7	13,600	-	11,400	-	-	14,300
		8~11	13,200	-	13,400	13,400	12,900	12,900
		12~14	15,800	15,200	14,900	14,000	14,300	14,100
		16	17,000	17,000	16,300	17,000	16,800	16,600
		18~22	15,800	15,400	14,100	14,200	14,500	14,000
24~28		16,000	15,000	13,200	13,900	14,300	13,800	
30~	14,800	13,800	12,000	12,300	12,900	13,500		
6.0	16~18	24,000	-	-	-	-	-	
ヒノキ	3.0	16~18	18,000	17,000	-	17,700	15,000	-
		20~22	17,600	15,000	-	17,300	14,000	-
	4.0	12~13	15,700	15,700	-	11,000	14,000	-
		14~16	19,900	19,500	-	19,400	16,800	-
		18~22	19,100	18,700	-	19,400	16,000	-
6.0	16~18	-	-	-	-	-	-	
マツ	4.2梁材	18~20	-	-	-	-	-	-
		22~24	-	-	-	-	-	-
		26~28	-	-	-	-	-	-

誤伐・盗伐の未然防止に努めるため森林境界等確認を徹底しましょう

●原木を合法木材及び木質バイオマスとして流通させるには、伐採届等の提出及び事業者認定の取得が必要です。